

製品名: コフィリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe04121**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 19 kDa; Observed MW: 19 kDa

抗原情報

遺伝子名	CFL1
別名	CFL1; CFL; Cofilin-1; 18 kDa phosphoprotein; p18; Cofilin; non-muscle isoform
遺伝子 ID	1072
SwissProt ID	P23528
免疫原	ヒトコフィリンの合成ペプチド

背景

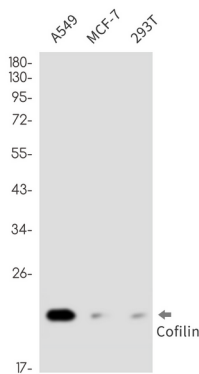
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、pH 依存的に F-アクチンと G-アクチンを重合・脱重合することができます。LIM キ

ナーゼによるこのタンパク質のリン酸化の亢進は、Rho 誘導性のアクチン細胞骨格の再構築を促進します。コフィリンは広く細胞内に分布するアクチン調節タンパク質で、pH 依存的に繊維状の F-アクチンに結合して脱重合し、単量体状の G-アクチンの重合を阻害します。コフィリンは、アクチン-コフィリン複合体の細胞質から核への移行に関与しています。[OMIM 提供、2004 年 4 月]

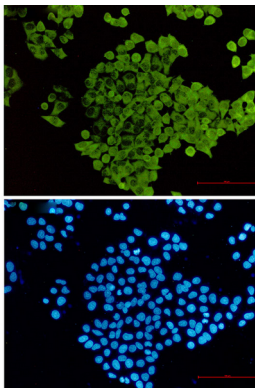
研究分野

シグナル伝達

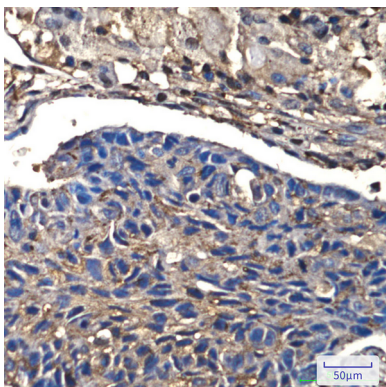
画像データ



コフィリン抗体を使用した A549、MCF-7、293T 溶解物中のコフィリンのウエスタンブロット分析。



コフィリン抗体と DAPI (青) を用いたヘマトクリット中のコフィリン (緑) の免疫細胞化学分析



コフィリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。